

新小山市民病院ニュースレター Shin-yama City Hospital News letter No.13

http://hospital-shinoyama.jp/

〒323-0827 栃木県小山市神鳥谷2251-1 ☎0285-36-0200 (代表)

病院長挨拶

まだまだ登り続けます

新病院が開院し、4か月が過ぎました。4月から本院のそれぞれの診療科に11名の常勤医師が着任しました。一方、7名の医師が本院を退職しましたので、在籍医師数は4名増加して、計52名になりました。今回新たに、婦人科と皮膚科に常勤医師が着任しました。

病院の現況は、4月の新入院患者数は、週平均130名、うち救急入院は53名、そのうち地域の医療機関からご紹介いただき緊急入院した患者数は22名でした。旧病院における昨年の同時期と比べて、地域の医療機関から受け入れた緊急入院患者数は倍増しており、救急車搬送入院患者数も含めた全体では20%の増加です。

脳卒中センターには、ほぼ毎日のごとく緊急入院患者があり、time is money ならぬ time is brain を合言葉に、tPA 実施症例数を増やしています。また、脳卒中と並んで心筋梗塞も、time is muscle, 緊急PCIを1日に2-3件実施することも稀でない状況です。さらに、4月からは、いよいよ新しい手術室で開心術がスタートし、月2例ペースで現在まで4例の弁置換術(僧帽弁、大動脈弁及び冠動脈バイパス術)を実施しましたが、いずれの患者さんも1~2週間後には元気に退院されています。

現在、2階の産科病棟を含む29床が未稼働なので、若干少ない病床数で運営をしており、文字通りの満床状態になる日もあります。苦心して病床をやり繰りしていますが、秋頃までには、看護師を確保して、フルオープンを目処をつける予定です。

全職員、一丸となって、まだまだ登り続けます。新小山市民病院は、地区医師会の先生方によってこそ育てられると信じています。

平成28年6月

新小山市民病院 理事長・病院長 島田和幸

主なトピックス

「第1回 地域完結型医療・連携の会」が盛大に行われました

5月19日(木)、「地域完結型医療・連携の会」が開催されました。平成27年度 地域完結型医療を育てる会出席者数

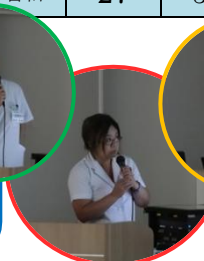
平成25年4月より月1回行っていた「地域完結型医療を育てる会」は、昨年11月、第32回をもって終了しました。今年度から会の名称を変更し、各診療科における紹介患者の症例検討会として再スタートしました。

院外の先生方20名、院内の医師24名、看護師・コメディカル・他13名(計57名)とたくさんの方に参加して頂き、活発な意見交換ができました。

今回は、循環器内科・外科・神経内科・整形外科でした。

今後奇数月に開催する予定で、次回は7月27日(水)、診療科は、消化器内科・内分泌代謝科・小児科・泌尿器科です。

月	4月	5月	6月	7月
院内	43	28	16	20
院外	16	30	13	14
合計	59	58	29	34
月	8月	9月	10月	11月
院内	11	22	24	15
院外	16	36	25	11
合計	27	58	49	26



新任医師からのご挨拶

☆4月1日より 11 名の新しい先生方が着任されました☆

皮膚科 部長 藤田 悦子

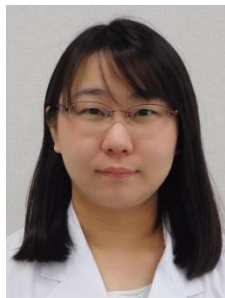
平成 28 年 4 月より新小山市民病院に着任いたしました藤田悦子です。
大学卒業後、東京都内の複数の病院勤務を経て、平成 16 年から自治医科大学皮膚科に所属し、当病院に時折、非常勤医師として診察させていただいておりました。

皮膚のトラブル、お悩みに真摯に耳を傾け、皮膚症状を診るだけでなく、生活環境や患者様の置かれた背景、内臓疾患との関連など常に念頭に置きながら診療に当たりたいと思います。市民の皆様の安心につながるよう誠心誠意努力いたしますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



婦人科 部長 廣瀬 典子

平成 28 年 4 月に新小山市民病院の婦人科に着任いたしました 廣瀬典子と申します。平成 16 年に福島県立医科大学を卒業後、郡山の病院で初期臨床研修を行い、自治医科大学産婦人科に入局してからは産科・婦人科・生殖医療の診療を行ってきました。



これまで新小山市民病院の婦人科は週 2 回の外来のみでしたが、4 月より平日は基本的に毎日外来診療を行えるようになりました。常勤医 1 名・非常勤医 3 名の体制のためご迷惑をおかけすることも多いかと存じますが、微力ながら地域医療に貢献できるよう、診療に当たらせていただきます。きれいな新病院で、まだ勝手がわからず戸惑うこともあります。外来診療・検査・手術を安全に安心して行えるよう、日々努めてまいります。至らない点が多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

内科・総合診療科 副部長 鈴木 忠広

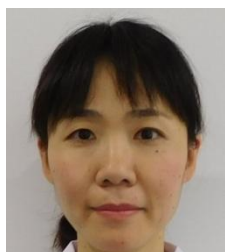
この度、平成 28 年 4 月から内科・総合診療科に赴任しました鈴木忠広と申します。

埼玉医科大学卒業後、自治医科大学で初期研修を行い、地域医療に携わりたいとの思いで自治医科大学

地域医療後期研修プログラムに所属し熊本県、茨城県の地域病院、岡山県の診療所で勤務してきました。幅広く診療を行い、多職種連携を密に行い地域包括ケアの実践に努力していきたいと思ひます。今後とも御指導御鞭撻の程、宜しくお願い致します。



呼吸器内科
副部長
水品 佳子



腎臓内科
副部長
小森さと子



神経内科
副部長
鈴木ひろみ

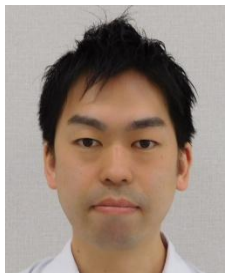


小児科
副部長
小島 華林

※ 今回スペースの関係上、他 8 名の先生方は名前のみとさせていただきます。

次回以降の各診療科の紹介などで改めてご紹介させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

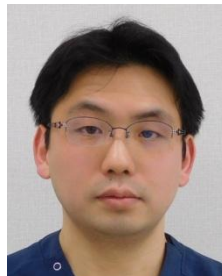




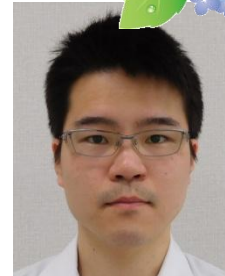
小児科
古井 貞浩



外科
副部長
森本 光昭



外科
小池 輪太郎



麻酔科
杉本 健三郎

ご迷惑をお掛けする事も多々あるかと存じますが、誠心誠意対応させていただく所存でございます。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます

認知症チームによる活動を開始しました。

神経内科部長／副院長 川上 忠孝

日頃は神経内科をご利用いただきまして誠にありがとうございます。当院は昨年12月末に新築移転となり、外来・病棟の構成も一新いたしました。神経内科としてはこの4月から鈴木ひろみ医師が新たに加わり、計6名(常勤5名+時短1名)で診療を行っています。

神経内科では2014年10月から毎週水曜午前に専門外来として『もの忘れ外来』を行ってまいりましたが、病院移転を契機としこの4月からは毎週木曜の午前外来の一部を『もの忘れ外来』として川上・安藤の医師2名および認知症認定看護師の青木により行っております。『もの忘れ外来』の診療には相当の時間がかかるため予約制としており、かかりつけ医から紹介状を作成してもらい、医療連携室に電話をして予約を取っていただくようにしております。

人口の高齢化と共に認知症の患者数は増加の一途を辿っており、様々な身体疾患のため入院する方が認知症を合併していることも多く認められます。このような入院患者に占める認知症の増加に合わせ、一般病棟でも認知症症状に対して適切に対応することが求められており、当院でもこの4月から入院中の認知症の看護・介護等に対応するため、『せん妄・認知症サポートチーム(DST)』を組織して活動を開始いたしました。チームメンバーは神経内科医師3名・看護師・リハビリ技士・MSW・社会福祉士・薬剤師の多職種からなる混成チームであり、毎週金曜午後に病棟ラウンドを行って病院全体の認知症患者の状況を把握し、入院中に特に問題となる夜間せん妄などの周辺症状(BPSD)に対する助言などを行っています。

認知症等の患者に対する抑制帯使用などがしばしば問題となっておりますが、患者個人の症状にあった対応策を検討することにより、出来る限り抑制帯などを使用しない看護・介護を模索するのがDSTの目標です。入院中の対応だけでなく、退院後に必要な支援に関しても主治医・病棟看護師などと検討し、病診連携・医介連携にも直接役立つような助言を行うことをチームとして目指しています。

ご家族が入院された時など、ひょっとしたらDSTのメンバーが病室にお邪魔することがあるかもしれませんが、その時はどうぞお気軽にお声がけいただければ光栄です。

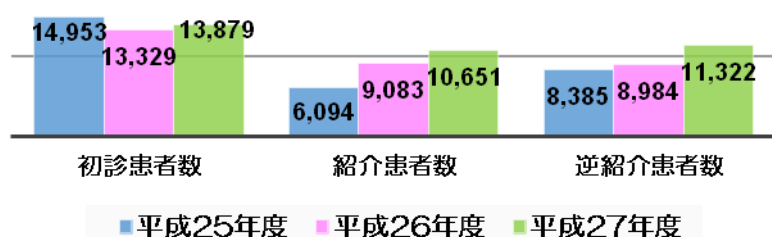


医療連携室よりお知らせ＆報告

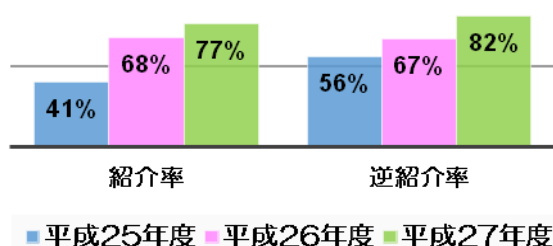


- 婦人科医師 1 名、皮膚科医師 1 名が今年度 4 月より常勤医として加わり、診療にあたっています。
- 今年度 5 月より、簡易 PSG 検査を共同利用として提供しております。睡眠時無呼吸症候群疑いの患者さんがいらっしゃいましたら、医療連携室にご連絡ください。(TEL: 0285-36-0252)
- 「もの忘れ外来」について
毎週木曜日午前に、医師 2 名、認定看護師 1 名体制で外来を行っています。問診・診察に時間を要するため、ご紹介される際は、予約をおとり下さい。(予約専用TEL: 0285-36-0254)
- 平成 27 年度分の紹介・逆紹介等実績データをまとめましたので、ご紹介いたします。

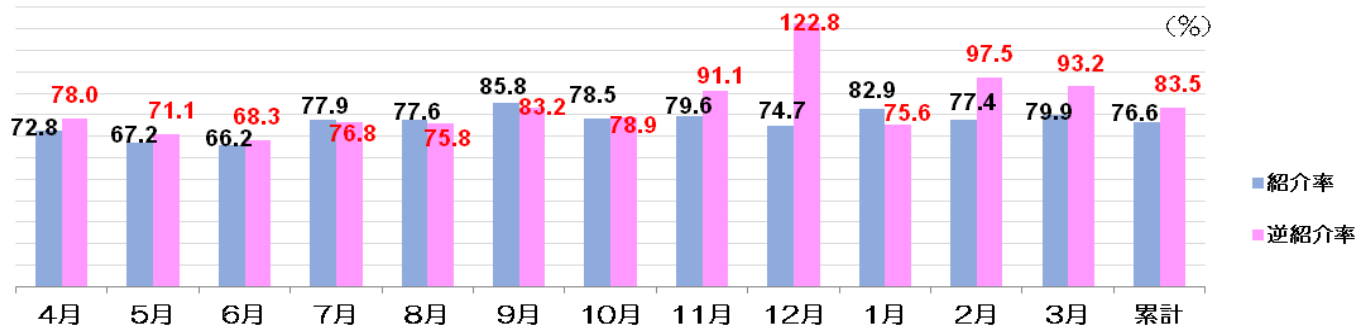
初診・紹介・逆紹介患者数の3年間の推移 (人)



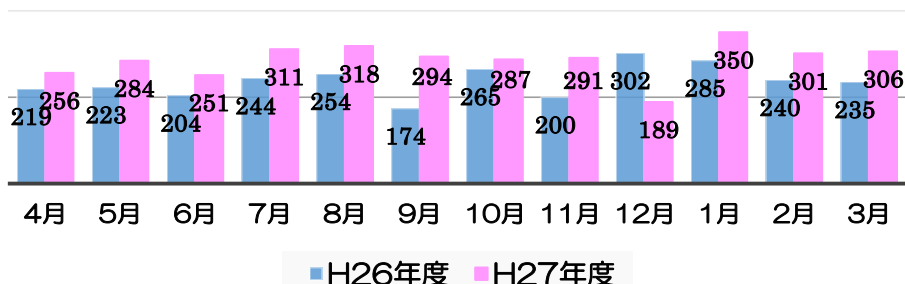
紹介率・逆紹介率の3年間の推移



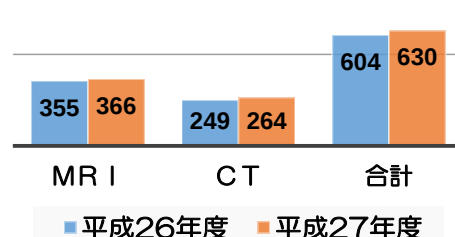
平成27年度 月別紹介率・逆紹介率



平成26年度・27年度 救急車受入



他医療機関からのMRI・CT 件数



患者支援センター (受付時間 平日 8:30 ~ 17:15)

- ◇ 医療連携室 : 0285-36-0252
(緊急の患者紹介・転入相談・その他地域連携に関すること)
- ◇ 予約専用ダイヤル: 0285-36-0254
(もの忘れ外来・内科・神経内科・循環器内科の受診予約・胃カメラ・心エコー・腹部エコーなどの検査予約)
- ◇ 医療相談室 : 0285-36-0256
(医療相談・退院調整に関すること・MSW に連絡・その他、外来患者の各種相談に関すること)



- ◇ FAX : 0285-36-0352
- ◇ メール renkei@hospital.oyama.tochigi.jp ※メールでも受付しております。

